

# しいの木だより

## 1月号

日立市しいの木学園  
〒317-0065  
日立市助川町5-12-1  
Tel/Fax 0294-23-3125  
E-mail: shiinoki@taiyonoie.com  
http://www.taiyonoie.com

### ☆行事予定☆

5日(金曜日)	仕事初め
9日(火曜日)	工賃支払
10日(水曜日)	保護者会
17日(水曜日)	成人お祝い会
19日(金曜日)	避難訓練
23日(火曜日)	陶芸活動



13日(土曜日)	スポーツ・レク 開催場所： 鮎川体育館 開催時間： 9:30~12:00
20日(土曜日)	JA日立市多賀朝市 開催場所： JA日立市多賀 開催時間： 9:00~11:00
23日(火曜日)~26日(金曜日)	内覧会 開催場所： しいの木学園 開催時間： 13:00~16:00

### の編集後記の

あけましておめでとうございます  
新年はいかがお過ごしでしょうか？  
編集を行うのも残り3回となってきました。  
楽しく見て頂けているのでしょうか？  
どんな内容にしようか悩みながら、良いしいの木  
だよりに行きたいと思えます。何卒、ご指導ご  
鞭撻のほど、宜しくお願い致します。



高橋 毅也

あけましておめでとうございます。

さて、去年の漢字1字は「北」でした。北朝鮮ミサイル問題や九州北部豪雨等、「北」が表すイメージは、あまり良くない印象を受けました。私個人としては「困」でした。いろいろと困惑してしまい皆様に迷惑をかけてしまったと反省しきりでした。そんな気持ちで年を越してしまわないように気持ちをリセットして新年を迎えました。

今年は「進」。自らの道を切り開く向上心と積極性を持ち、一步ずつ確実に前進していきたいと思っています。

### ○学園の目標○

#### 1. 働きやすい環境整備

仕方なく仕事をするのではなく、心から働きたいと思えるリラックスできる環境、安心・安全な環境を整備します。

#### 2. 工賃向上

一生懸命働いた対価として工賃を得る事が出来るよう考えて行きます。しかし、工賃を上げる事それ自体が目的ではなく、利用者自身の生活を、人生を豊かなものにしていきたいと思えます

今年もよろしくお願い致します

しいの木学園 園長 菊地祐二

## 木工

先日のニコカーニバルで音楽発表が無いことに寂しさを感じた方も居られたと思います。とても理解できる事です。私もその一人でした。一年間一生懸命に練習した曲を演奏している利用者さんの姿を見て感動しない人は居なかったと思います。複雑な思いはありましたが私は音楽発表の場が普段の生活(活動)の発表の場になったという思いで当日を過ごしました。今まで積み上げてきた技術を誇らしげに説明する姿。自分の作り上げた商品を自信を持ち販売している姿。内向的で自信なさがだった利用者さんが自信を持ち生き生きと楽しそうにお客さんと接している。利用者さんの作業技術の進歩だけでなく精神的な変化まで見事なまでに表現されていたと思います。その姿を見て誇らしく頼もしく思い、音楽発表同様に感動したのは私だけでしょうか？一年を振り返ると胸が熱くなり、三年間の思いを巡らすと更に胸が熱くなる。視点を変えればとても意味深い行事となり一年の締めくくりとしては最良の日になったと思います。皆さんよい年を迎えられる事でしょう。

## 園芸



〇しいの木名物！「いし焼きいも」  
紅はるかを使用しているのので、とにかく甘くておいしい！と好評です。  
寒い中、火焚いて頑張ってます。  
事前注文もお受けしますので、お気軽にしいの木までお電話下さい。



裏の城趾公園で拾ってくる「バラぼっくり」ちょっとバラに似てるのでそう呼んでいます。



冬でも外！寒い～！

## クラフト



新年、お正月ピンズ  
数量限定で販売致します！！



今回のピンズにはお正月飾りが付いています。そして今までと違い顔が反対についているのでカーテンなどに付けるとお顔がしっかり見えます！！

前月号でご紹介させて頂いたネック・レッグウォーマー。  
ニコ・カーニバルではお陰様で大好評でした。  
他にもしいの木学園の製品を手にとっていただきありがとうございました。  
今後もいろんな製品をみなさんに届けられるよう利用者さんと共に一生懸命製作していきたいと思っています。新年も宜しくお願い致します。

## 陶芸



現在、新しい陶器を製作中です。  
今回はピッチャーを作りました。  
みんなは面取りにチャレンジ！！  
なかなか思い切りが良すぎて。。。  
穴が空いてしまうこともありましたが、  
新しい製品が出来そうな予感！！



毎月1回、米川先生にご指導いただき様々な陶器の作り方を教えていただいています。少しずつではありますが利用者さんも粘土に触れる事に慣れ、楽しんでいるようにも感じます。これからもいろんなことに挑戦する気持ちを忘れず、新たな可能性を見つけていきたいと思っておりますワン！！